令和 5 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　大分県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立病院	2
中津市	中津市民病院	3
杵築市	山香病院	4
豊後大野市	豊後大野市民病院	5
国東市	国東市民病院	6

病院事業決算状況(令和５年度)

都道府県名
大分県

市町村・組合名	
病院名	県立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	50,263 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感へ災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	509	78.0	76.7	78.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	36	49.9	51.4	61.9
感染症	12	2.4	44.4	31.3
計	557	74.5	74.4	76.2
平均在院日数（一般病床のみ）		10.8	11.3	11.2

（%・日）

設立団体の状況

人口（人）		1,123,852
決算規模（千円）		676,738,407
標準財政規模（千円）		334,661,515
財政力指数		0.37095
経常収支比率（%）		92.1
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.8
	将来負担比率（%）	164.6

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,176,015			
１経常収益	20,128,938			
（１）医業収益	18,613,083			
（うち修正医業収益）	18,538,670			
①入院収益	12,321,605			
②外来収益	6,078,305			
診療収入計	18,399,910			
③繰延運営権対価収益	-			
④運営権者更新投資収益	-			
⑤その他医業収益	213,173			
（うち他会計負担金）	74,413			
（２）医業外収益	1,515,855			
（うち国・都道府県補助金）	136,286			
（うち他会計補助・負担金）	644,078			
（うち長期前受金戻入）	413,949			
（うち資本費繰入収益）	160,300			
（３）特別利益	47,077			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	20,815,268			
２経常費用	20,732,888			
（１）医業費用	19,742,501			
①職員給与費	9,087,033	48.8	58.7	51.4
②材料費	6,531,572	35.1	26.9	32.6
（うち薬品費）	3,782,229	20.3	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	2,641,282	14.2	11.7	13.9
③減価償却費	1,099,772	5.9	8.5	7.4
④経費	2,849,396	15.3	21.5	16.9
（うち委託料）	1,770,476	9.5	11.5	10.0
⑤研究研修費	96,348			
⑥資産減耗費	78,380			
（２）医業外費用	990,387			
（うち支払利息）	28,463	0.2	0.9	0.8
（３）特別損失	82,380			
損益 経常損益	-603,950			
損益 純損益	-639,253			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.1		96.5	97.6
医業収支比率	94.3		86.0	91.7
修正医業収支比率	93.9		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	3.6		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	3.9		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	3.6		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	93.6		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	24,608,194
１固定資産	14,802,346
（１）有形固定資産	13,850,533
（２）無形固定資産	81
（３）投資その他の資産	951,732
２流動資産	9,805,848
（１）現金及び預金	6,543,599
（２）未収金及び未収収益	3,098,652
（３）貸倒引当金（△）	50,719
（４）貯蔵品	214,316
３繰延資産	-
負債合計	17,822,773
１固定負債	10,525,297
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,414,398
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	509,117
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	3,601,782
（６）リース債務	-
２流動負債	4,011,869
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	777,709
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	19,570
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	560,586
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	2,574,994
（９）前受金及び前受収益	-
３繰延収益	3,285,607
（１）長期前受金	14,278,163
（２）長期前受金収益化累計額（△）	10,992,556
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	6,785,421
１資本金	1,137,020
２剰余金	5,648,401
（１）資本剰余金	500,822
（２）利益剰余金	5,147,579
負債・資本合計	24,608,194
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	718,491	718,491
資本勘定繰入	231,693	231,693
計	950,184	950,184

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和５年度)

都道府県名
大分県

市町村・組合名	中津市
病院名	中津市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	21,021 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が　へ災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	250	91.7	96.0	92.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	91.7	96.0	92.2
平均在院日数（一般病床のみ）		9.0	9.0	9.6

(%・日)

設立団体の状況

人口 (人)		82,863
決算規模 (千円)		46,251,435
標準財政規模 (千円)		23,995,071
財政力指数		0.51
経常収支比率 (%)		93.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	5.5
	将来負担比率 (%)	33.2

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,071,446			
１経常収益	8,069,713			
（１）医業収益	7,518,869			
（うち修正医業収益）	7,468,999			
①入院収益	5,220,499			
②外来収益	2,126,589			
診療収入計	7,347,088			
③繰延運営権対価収益	-			
④運営権者更新投資収益	-			
⑤その他医業収益	171,781			
（うち他会計負担金）	49,870			
（２）医業外収益	550,844			
（うち国・都道府県補助金）	48,524			
（うち他会計補助・負担金）	243,722			
（うち長期前受金戻入）	216,872			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	1,733			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	8,567,145			
２経常費用	8,498,797			
（１）医業費用	8,091,530			
①職員給与費	3,966,667	52.8	58.7	63.9
②材料費	2,135,878	28.4	26.9	21.1
（うち薬品費）	1,411,033	18.8	14.8	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	720,335	9.6	11.7	10.2
③減価償却費	501,041	6.7	8.5	9.3
④経費	1,430,543	19.0	21.5	28.2
（うち委託料）	936,362	12.5	11.5	14.0
⑤研究研修費	36,822			
⑥資産減耗費	20,579			
（２）医業外費用	407,267			
（うち支払利息）	35,061	0.5	0.9	1.0
（３）特別損失	68,348			
損益 経常損益	-429,084			
損益 純損益	-495,699			
累積欠損金	495,699			
経常収支比率	95.0		96.5	93.2
医業収支比率	92.9		86.0	81.2
修正医業収支比率	92.3		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	3.6		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	3.9		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	3.6		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	91.5		85.4	80.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円)

区分	決算額
資産合計	12,634,725
１固定資産	9,724,231
（１）有形固定資産	7,039,060
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	2,685,171
２流動資産	2,910,494
（１）現金及び預金	1,625,192
（２）未収金及び未収収益	1,237,519
（３）貸倒引当金（△）	252
（４）貯蔵品	46,282
３繰延資産	-
負債合計	7,072,033
１固定負債	4,780,597
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,828,835
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	949,934
（６）リース債務	1,828
２流動負債	1,119,868
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	259,340
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	279,986
（６）リース債務	1,814
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	551,458
（９）前受金及び前受収益	-
３繰延収益	1,171,568
（１）長期前受金	2,549,976
（２）長期前受金収益化累計額（△）	1,378,408
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	5,562,692
１資本金	5,769,545
２剰余金	-206,853
（１）資本剰余金	34,761
（２）利益剰余金	-241,614
負債・資本合計	12,634,725
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況

(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	293,592	293,592
資本勘定繰入	165,028	91,189
計	458,620	384,781

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	6.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和５年度)

都道府県名
大分県

市町村・組合名	杵築市
病院名	山香病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	10,546 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	11	指定病院の状況	救臨　へ　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	138	83.5	86.6	90.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	138	83.5	86.6	90.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	16.7	17.0

設立団体の状況

人口(人)		27,999
決算規模(千円)		20,348,733
標準財政規模(千円)		10,592,439
財政力指数		0.33
経常収支比率(%)		90.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分		決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益		3,339,319			
１経常収益		3,338,898			
(１)医業収益		2,467,595			
(うち修正医業収益)		2,414,269			
①入院収益		1,706,645			
②外来収益		588,166			
診療収入計		2,294,811			
③繰延運営権対価収益		-			
④運営権者更新投資収益		-			
⑤その他医業収益		172,784			
(うち他会計負担金)		53,326			
(２)医業外収益		871,303			
(うち国・都道府県補助金)		101,804			
(うち他会計補助・負担金)		214,387			
(うち長期前受金戻入)		105,674			
(うち資本費繰入収益)		-			
(３)特別利益		421			
(うち他会計繰入金)		-			
総費用		3,156,433			
２経常費用		3,139,646			
(１)医業費用		2,603,838			
①職員給与費		1,706,315	69.1	58.7	67.7
②材料費		257,137	10.4	26.9	18.3
(うち薬品費)		92,766	3.8	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)		129,776	5.3	11.7	9.1
③減価償却費		168,700	6.8	8.5	10.3
④経費		458,253	18.6	21.5	29.4
(うち委託料)		190,309	7.7	11.5	13.6
⑤研究研修費		6,870			
⑥資産減耗費		6,563			
(２)医業外費用		535,808			
(うち支払利息)		6,881	0.3	0.9	1.1
(３)特別損失		16,787			
損益	経常損益	199,252			
	純損益	182,886			
累積欠損金		-			
経常収支比率		106.3		96.5	95.4
医業収支比率		94.8		86.0	79.1
修正医業収支比率		92.7		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率		8.0		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率		10.8		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率		8.0		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率		97.8		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円)

区分	決算額
資産合計	4,467,362
１固定資産	1,897,981
(１)有形固定資産	1,817,399
(２)無形固定資産	26,029
(３)投資その他の資産	54,553
２流動資産	2,569,381
(１)現金及び預金	2,078,975
(２)未収金及び未収収益	474,864
(３)貸倒引当金(△)	8,851
(４)貯蔵品	24,393
３繰延資産	-
負債合計	2,193,890
１固定負債	1,423,803
(１)建設改良費等の財源に充てるための企業債	734,545
(２)その他の企業債	-
(３)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(４)その他の長期借入金	-
(５)引当金	689,258
(６)リース債務	-
２流動負債	426,060
(１)建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,811
(２)その他の企業債	-
(３)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(４)その他の長期借入金	-
(５)引当金	132,038
(６)リース債務	2,997
(７)一時借入金	-
(８)未払金及び未払費用	163,350
(９)前受金及び前受収益	-
３繰延収益	344,027
(１)長期前受金	1,182,271
(２)長期前受金収益化累計額(△)	838,244
(３)繰延運営権対価	-
(４)繰延運営権対価収益化累計額(△)	-
(５)運営権者更新投資	-
(６)運営権者更新投資収益化累計額(△)	-
資本合計	2,273,472
１資本金	1,886,362
２剰余金	387,110
(１)資本剰余金	57,317
(２)利益剰余金	329,793
負債・資本合計	4,467,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(△)	-
資本不足額(繰延収益控除後)(△)	-

備考

他会計からの繰入状況

(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	265,171	267,713
資本勘定繰入	37,325	59,840
計	302,496	327,553

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和５年度)

都道府県名
大分県

市町村・組合名	豊後大野市
病院名	豊後大野市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	17,072 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	22	指定病院の状況	救臨　感へ災
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	156	83.3	67.3	67.3
療養	39	72.8	78.7	75.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	1.0	143.9	102.5
計	199	79.6	71.0	69.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	11.3	11.0

設立団体の状況

人口(人)		33,695
決算規模(千円)		28,433,296
標準財政規模(千円)		14,659,459
財政力指数		0.28
経常収支比率(%)		92.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,811,498			
１経常収益	3,803,303			
(１)医業収益	3,147,499			
(うち修正医業収益)	3,098,133			
①入院収益	2,096,666			
②外来収益	859,907			
診療収入計	2,956,573			
③繰延運営権対価収益	-			
④運営権者更新投資収益	-			
⑤その他医業収益	190,926			
(うち他会計負担金)	49,366			
(２)医業外収益	655,804			
(うち国・都道府県補助金)	195,902			
(うち他会計補助・負担金)	198,231			
(うち長期前受金戻入)	83,982			
(うち資本費繰入収益)	116,381			
(３)特別利益	8,195			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,927,696			
２経常費用	3,920,923			
(１)医業費用	3,573,828			
①職員給与費	2,184,357	69.4	58.7	67.7
②材料費	520,745	16.5	26.9	18.3
(うち薬品費)	270,751	8.6	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	241,391	7.7	11.7	9.1
③減価償却費	202,881	6.4	8.5	10.3
④経費	629,900	20.0	21.5	29.4
(うち委託料)	447,744	14.2	11.5	13.6
⑤研究研修費	8,854			
⑥資産減耗費	27,091			
(２)医業外費用	347,095			
(うち支払利息)	27,104	0.9	0.9	1.1
(３)特別損失	6,773			
損益 経常損益	-117,620			
損益 純損益	-116,198			
累積欠損金	116,198			
経常収支比率	97.0		96.5	95.4
医業収支比率	88.1		86.0	79.1
修正医業収支比率	86.7		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.9		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	6.5		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	90.7		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円)

区分	決算額
資産合計	5,755,798
１固定資産	2,942,068
(１)有形固定資産	2,919,196
(２)無形固定資産	635
(３)投資その他の資産	22,237
２流動資産	2,813,730
(１)現金及び預金	2,246,430
(２)未収金及び未収収益	532,536
(３)貸倒引当金(△)	-
(４)貯蔵品	34,764
３繰延資産	-
負債合計	3,522,023
１固定負債	2,266,831
(１)建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,811,197
(２)その他の企業債	-
(３)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(４)その他の長期借入金	-
(５)引当金	405,991
(６)リース債務	49,643
２流動負債	556,526
(１)建設改良費等の財源に充てるための企業債	238,674
(２)その他の企業債	-
(３)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(４)その他の長期借入金	-
(５)引当金	149,290
(６)リース債務	7,347
(７)一時借入金	-
(８)未払金及び未払費用	146,561
(９)前受金及び前受収益	-
３繰延収益	698,666
(１)長期前受金	1,866,298
(２)長期前受金収益化累計額(△)	1,167,632
(３)繰延運営権対価	-
(４)繰延運営権対価収益化累計額(△)	-
(５)運営権者更新投資	-
(６)運営権者更新投資収益化累計額(△)	-
資本合計	2,233,775
１資本金	700,835
２剰余金	1,532,940
(１)資本剰余金	212,982
(２)利益剰余金	1,319,958
負債・資本合計	5,755,798
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(△)	-
資本不足額(繰延収益控除後)(△)	-

備考

他会計からの繰入状況

(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	247,597	247,597
資本勘定繰入	116,381	116,381
計	363,978	363,978

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率(%)	3.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和５年度)

都道府県名
大分県

市町村・組合名	国東市
病院名	国東市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	15,845 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	20	指定病院の状況	救臨　感へ災
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	145	79.2	73.5	64.6
療養	50	82.8	81.6	86.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	60.9	46.8	26.6
計	199	79.8	74.9	69.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	13.0	11.1

設立団体の状況

人口(人)		26,232
決算規模(千円)		25,006,286
標準財政規模(千円)		12,050,463
財政力指数		0.29
経常収支比率(%)		95.7
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分		決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益		4,331,890			
１経常収益		4,259,503			
(1)医業収益		3,659,636			
(うち修正医業収益)		3,599,741			
①入院収益		2,704,547			
②外来収益		747,168			
診療収入計		3,451,715			
③繰延運営権対価収益		-			
④運営権者更新投資収益		-			
⑤その他医業収益		207,921			
(うち他会計負担金)		59,895			
(2)医業外収益		599,867			
(うち国・都道府県補助金)		98,643			
(うち他会計補助・負担金)		119,439			
(うち長期前受金戻入)		69,168			
(うち資本費繰入収益)		221,331			
(3)特別利益		72,387			
(うち他会計繰入金)		-			
総費用		4,219,666			
２経常費用		4,217,562			
(1)医業費用		4,066,980			
①職員給与費		2,306,621	63.0	58.7	67.7
②材料費		528,363	14.4	26.9	18.3
(うち薬品費)		192,119	5.2	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)		336,244	9.2	11.7	9.1
③減価償却費		317,236	8.7	8.5	10.3
④経費		897,142	24.5	21.5	29.4
(うち委託料)		386,991	10.6	11.5	13.6
⑤研究研修費		5,858			
⑥資産減耗費		11,760			
(2)医業外費用		150,582			
(うち支払利息)		24,248	0.7	0.9	1.1
(3)特別損失		2,104			
損益	経常損益	41,941			
	純損益	112,224			
累積欠損金		786,363			
経常収支比率		101.0		96.5	95.4
医業収支比率		90.0		86.0	79.1
修正医業収支比率		88.5		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率		4.2		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率		4.9		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率		4.1		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率		96.7		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	7,605,559
１固定資産	6,454,785
(1)有形固定資産	4,063,620
(2)無形固定資産	161,165
(3)投資その他の資産	2,230,000
２流動資産	1,150,774
(1)現金及び預金	536,641
(2)未収金及び未収収益	590,577
(3)貸倒引当金(△)	-
(4)貯蔵品	23,556
３繰延資産	-
負債合計	5,321,727
１固定負債	3,226,238
(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,030,587
(2)その他の企業債	-
(3)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4)その他の長期借入金	-
(5)引当金	1,195,651
(6)リース債務	-
２流動負債	716,122
(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債	369,581
(2)その他の企業債	-
(3)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4)その他の長期借入金	-
(5)引当金	181,970
(6)リース債務	-
(7)一時借入金	-
(8)未払金及び未払費用	144,774
(9)前受金及び前受収益	-
３繰延収益	1,379,367
(1)長期前受金	1,973,982
(2)長期前受金収益化累計額(△)	594,615
(3)繰延運営権対価	-
(4)繰延運営権対価収益化累計額(△)	-
(5)運営権者更新投資	-
(6)運営権者更新投資収益化累計額(△)	-
資本合計	2,283,832
１資本金	3,024,777
２剰余金	-740,945
(1)資本剰余金	2,652
(2)利益剰余金	-743,597
負債・資本合計	7,605,559
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(△)	-
資本不足額(繰延収益控除後)(△)	-

備考

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	178,777	179,334
資本勘定繰入	144,377	221,331
計	323,154	400,665

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率(%)	21.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。